

農作物の被害予想と対策（台風13号）

環境農業推進課・農業イノベーション推進課

農薬散布の場合は、安全使用基準（特に収穫前日数）と農薬の飛散（ドリフト）に注意する。

農作物名	生育ステージ	被害予想	対策
1. 水稻 ● 早期稲	登熟期～収穫期	強風・大雨による倒伏、浸水、冠水による収量、品質の低下、穂発芽による収量、品質の低下。	1. 倒伏、浸水、冠水した水田では、できるだけ早く溝切り、水路のゴミを除去し、濁水の排水に努める。 2. 高潮や海水が流入した水田は、早急に清水を入れ、かけ流しかん水する。
● 普通期稲	幼穂形成期～出穂期	強風・大雨による、白穂、茎葉の損傷、浸水、冠水による不稔、いもち病（穂いもち）、白葉枯病等の発生。	1. 台風による暴風は、稲の表面から多量の水分を奪い穂、茎葉を震動させ損傷を与えるので、水田に十分に水を与える。 2. 浸水、冠水した場合は、排水に努めるとともに退水後は浅水管理とする。水温が高くと被害が大きくなるので、新鮮な水を時々浅く入れ、根の回復を図る。 3. 黄化萎縮病、いもち病、白葉枯病の防除は「病虫害防除指針」に基づいて適切に防除を行う。
2. 野菜（露地） ● ショウガ	生育期（3次茎分け時期）	風による茎葉の損傷、浸水による根茎腐敗病、青枯病の発生。	< 事前対策 > 1. 台風襲来前に防風対策を行う。 2. 浸水、冠水による被害を予め防ぐため、ほ場周辺の排水を良くしておく。 3. 台風通過後に想定される病害対策として農薬などを確認しておく。 < 事後対策 > 4. 根茎腐敗病、疫病の発生がみられたらただちに防除を行い、被害の拡大を回避する。 5. 倒伏したものは早く起こし、茎葉に付着した泥は洗い落とす。 6. 果菜類で被害の大きいスレ果や変形果等は早く摘果し、樹勢の回復を図る。 7. 潮風害を受けた場合は、なるべく早くきれいな水で塩分を流す。
● オクラ	収穫期	風による倒伏、茎葉の損傷と果実の品質低下並びに輪紋病（さくぐされ病）の発生。	
● シシトウ ● ピーマン ● ナス	収穫期 〃 〃	風による倒伏、茎葉の損傷と果実の品質低下並びに浸水による青枯病、疫病の発生。	
● サトイモ ● 青ネギ ● ニラ	生育期 生育期～収穫期 収穫期	風による茎葉の損傷。	

農作物名	生育ステージ	被害予想	対策
3. 野菜 (雨よけ) ●オクラ ●シシトウ ●ピーマン ●ナス ●トマト	収穫期 〃 〃 〃 〃	ハウスのビニール破損、倒壊とそれに伴う倒伏 茎葉の損傷と品質低下。シシトウ、ピーマン、ナ ス、トマトではハウスへの浸水、冠水による青枯 病、疫病の発生。	<事前対策> 1. 台風襲来前に防風対策を行う。 2. ハウス内への浸水対策や周辺の排水対策を 十分に行っておく。 <事後対策> 3. ビニールが破損し、修復までに長時間を要 する場合は、白色の寒冷紗を被覆する。 4. 台風通過後は強い日射によりハウス内温度 が急上昇するため、速やかに換気操作を行 う。 5. ビニール破損等により倒伏したものは早く起 こし、茎葉に付着した泥は洗い落とす。 6. 果菜類で被害の大きいスレ果や変形果等は 早く摘果し、樹勢の回復を図る。 7. 潮風害を受けた場合は、なるべく早く水洗 いして塩分を流す。 8. 浸水、冠水があった場合は、ほ場の排水の 迅速化を図るとともに、病害の発生防止の ために予防散布を行う。
4. 野菜（施設） ●ナス ●ピーマン ●シシトウ ●ミョウガ ●メロン ●イチゴ	育苗期 育苗期 育苗期 収穫末期、生育初期 収穫期、播種～育苗 期 育苗期	1. 育苗ハウスや本ぽハウスのビニール破損、倒 壊 2. 苗の葉ずれ、倒伏 3. ハウスへの浸水、冠水によりミョウガでは根 茎腐敗病の発生、メロンでは裂果や果実の腐敗 4. 育苗が始まっている品目では、育苗ハウスの ビニール破損による葉ズレ、潮風害、冠水によ る疫病の発生	<事前対策> 1. 台風襲来前に防風対策を行う。 2. ハウス内への浸水対策や周辺の排水対策を 十分に行っておく。 <事後対策> 3. ビニールが破損し、修復までに長時間を要 する場合は、白色の寒冷紗を被覆する。 4. 育苗中の苗床が、浸水、冠水や風ずれなど によって大きな被害を受けた場合（今後、 枯死、生育不良等が予想されるもの）は、 直ちに播き直しを行う。 5. 浸水があった場合は、ほ場の排水の迅速化 を図るとともに、茎葉に付着した泥は洗い 落とし、病害の発生防止のために予防散布 を行う。根茎腐敗病の発生がみられたら、 直ちに防除を行い、発病部分を隔離して被 害の拡大を回避する。また、薬剤の安全使 用基準に留意する。

農作物名	生育ステージ	被害予想	対策
5. 花き（露地） ●キク ●センリョウ	生育期～収穫期 生育期	ほ場への浸水と風による葉ズレ、折損、倒伏。	1. 台風襲来前に浸水しないように排水対策を行う。また、浸水時には排水に努める。 2. 風による被害を防ぐため、防風（防風ネット棚の補強等）対策を行う。 3. 下葉に泥が付着した場合には、きれいな水で洗い流し、天候の回復を待って農薬散布を行い病害の発生を予防する。 4. 倒伏したものは、ゆっくり起こし、倒れないように管理する。 5. 潮風害を受けた時は、なるべく早くきれいな水で塩分を洗い流す。
6. 花き（施設） ●ユリ ●ソリダスター ●グロリオサ ●洋ラン ●オキペタラム ●トルコギキョウ 冬春夏秋 ●ダリア	収穫期～定植 生育期 〃 〃 〃 育苗期～定植 生育期～収穫期 育苗期	1. ハウスのビニール破損、倒壊、葉ズレ、折損 倒伏ならびにハウスへの浸水、冠水。 2. ほ場に雨水が入った場合の疫病の発生。 3. 停電によるムレ。	1. 台風襲来前に防風対策を行う。 2. 茎葉に泥などが付着した場合には、きれいな水で泥を洗い流し、天候の回復を待って農薬散布を行い、病害の発生を予防する。 3. ほ場に雨水が入った場合には、疫病の対策を行う。 4. 冷房育苗ハウスを補強する。停電後に温度が上昇する場合は換気を行う。
7. 常緑果樹 （施設） ●温州ミカン	収穫期～収穫前	1. ハウスのビニール並びに本体の破損 2. 果実の貯蔵病害および褐色腐敗病の多発	1. 収穫中のハウスは、ハウスの補強（別添ハウス施設の台風対策参照）、防風垣の整備を行う。 2. 事前、事後の排水対策。 3. 強風によりハウス本体への影響が懸念される場合は、ハウス本体の被害を最小限にするため、ビニールの除去を行う。 4. 事前、事後の貯蔵病害および褐色腐敗病対策（発病害の除去および薬剤散布）を行う。
●その他のカンキツ類	果実肥大期	1. ハウスのビニール並びに本体の破損 2. ビニール除去ハウスでの落果（ブント類） 3. かいよう病の発生 4. すそ腐れ病（カンキツ疫病）の発生（ユズ）	1～3は同上 4. かいよう病対策として、事前、事後に銅剤や抗生物質剤などで防除を行う。 5. すそ腐れ病対策として、事前、事後の排水対策および薬剤散布を行う。

農作物名	生育ステージ	被害予想	対策
8. 常緑果樹 (露地) ●温州ミカン	果実肥大期	1. 果実の落果 2. 果実、枝葉の損傷等	1. 防風垣の補強や、幼木の支柱による固定、排水対策を行う。 2. 台風通過後は樹体倒伏があれば、露出した根が乾燥しないうちに起こして株元へ土寄せをする(根を傷めないよう注意)。 3. 枝折れしたものは、なるべく早く切り返し切口にトップジンMペーストなどを塗布する。 4. 潮風害を受けた場合は、速やかに水洗いして塩分を流す。
●その他のカンキツ類	果実肥大期	1. 果実の落果 2. 果実、茎葉の損傷等 3. かいよう病の発生 4. すそ腐れ病(カンキツ疫病)の発生(ユズ) 5. 果樹カメムシ類の発生	1～4は同上 5. かいよう病対策として、事前、事後に銅剤や抗生物質剤などで防除を行う。 6. すそ腐れ病対策として、事前、事後の排水対策および薬剤散布を行う。 7. 果樹カメムシ類対策として、事後にこまめに園地内を見回り、飛来を確認した場合、速やかに薬剤散布を行う。
9. 落葉果樹 ●ナシ ●カキ ●ブドウ ●クリ	収穫期～果実肥大期 果実肥大期 収穫期～着色期 果実肥大期	1. 果実の落果 2. 枝折れ、枝葉の損傷等 3. 棚の倒伏	1. 防風垣の補強、更にナシ、ブドウなどは棚の補強、排水対策を行う。収穫適期の果実は早めに収穫する。 2. 台風通過後は上記(温州ミカン2～4)に準じる。 3. 病害の発生防止のため、薬剤を早めに散布する。